



CHIZAI LETTER

第12号 発行日 2007 / 4 / 19

CONTENTS

「知財」と「大学」	1
発明と「私」	1
「アカデミア in 山口 (第3回大学知的財産戦略研修会)」を開催	2
「知財担当者、産学連携・TLO関係者、研究者のための知財集中研修会」を開催	2
特許情報検索講習会・特許マップ作成講習会・特許明細書作成講習会を開催	3
特許インストラクターの体験談	3
卒業に当たり特許インストラクターから寄せられた声	4
知的財産本部 スケジュール	4

新刊書紹介

山口大学知的財産本部が監修の「知的財産教本 改訂版」が好評発売中!!



今回の「知的財産教本 改訂版」は、最新法令を網羅し、新たに「大学の上手な活用方法」を加えて全面的に改訂しました。携帯にも便利なサイズで教員、学生、研究者、知財実務担当者のバイブルとして、この機会に是非1冊いかがでしょうか。

監修: 山口大学知的財産本部
著者: 辻本一義弁護士、他5名
発行: (株)EMEパブリッシング
TEL&FAX: 0836-35-7938(上谷)
E-Mail: eme@emepublishing.jp
定価: 2,625円(税込)



「知財」と「大学」

昨年5月から、企画・広報担当理事・副学長に就任しています。法人化され3年が経過し、まもなく法人化1期目の暫定評価(実際は4年間の実績で評価を受ける)を受けることになっています。



大学として教育、研究、社会貢献、経営事項等の中期目標を定めてその実現を図っているところです。現在、達成状況は順調ですが、山口大学として評価されることを構成員がもっと認識する必要があると感じています。

私は、工学部長のころ、アメリカのTLOの活動状況を調べ、その後山口テール・エル・オーの設置準備委員会の委員長になり、全学構成員出資の有限会社を設立したことが「特許」との出会いでした。その後、日本の国家的政策もあり、大学が知財本部を設置するまでになり、とりわけ山口大学は「産学公連携・創業支援機構」の活動が大学の特色となるまでに至ったこと地域の基幹総合大学として発展の方向にあると思っています。産業界と連動するこの分野の変化の速さと大学の教育改革の速さの違いをいかに調整しながら運営するかで大学の将来が決まると考えています。

(山口大学理事・副学長 村田 秀一)



発明と「私」

「発明は辛抱強い地道な努力」

技術者や研究者を目指す学生にとっては、誰でもいつか何か役に立つものを発明したいという夢を持っていると思われれます。発明は「ひらめき」から生まれてくるとよく言われています。この「ひらめき」は偶然に生まれるものでなく、長い苦しみを耐えた後に生まれることが多いようです。言い換えれば、発明は物事に対して深く追求し続けその問題点を発見する日頃の努力と意識によるところが大きいです。もちろん、最初から問題点がはっきりしていてその解決方法を求めることもあります。しかし、このような場合も問題点の本質を本当に理解していないとよい解決方法が発明されないし、その問題の解決に深く関わる他の問題点が潜んでいる場合もよくあり、これらの問題点の発見がなければ発明も生まれません。



従いまして、「ひらめき」を求める学生諸君には、問題点の発見能力と分析・解析能力をまず身につける必要があります。それでは、発見能力と解析能力をどのようにしたら身につけることができるかという疑問に対しては、いろいろな回答がありましよう。私のアドバイスとしては、共通基礎または専門基礎科目をしっかり勉強しその基本原理を徹底的に理解することから始めてはいかがでしょうか。辛抱強い地道の努力は「発明」への一番近道になりましよう。

(大学院理工学研究科 機械工学専攻 教授 江 鐘偉)



「知財アカデミア in 山口（第3回大学知的財産戦略研修会）」を開催

12月11日(月)山口グランドホテルにおいて、「知財アカデミア in 山口」を開催しました。本研修会は、文部科学省が実施している「大学知的財産本部整備事業：地域連携ネットワーク事業」の一環として文部科学省と本学との共催によるもので、昨年度に続き3回目を数え、国内の最新の情報を提供する場となりました。

研修会は、中・四国及び九州地区を中心として、全国の大学、地元企業、公共機関など学外から約100名、学内からは学長、副学長をはじめ約80名の参加を得て開催されました。

プログラムは、前内閣官房知的財産戦略事務局長の荒井寿光氏を迎え、「21世紀は知財重視の時代～知的財産基本法立法の経緯から知財国家戦略の将来展望～」と題して、「知財立国」実現に向けてのわかりやすい講演、文部科学省研究振興局 研究環境・産学連携課 技術移転推進室井上室長から「産学連携・知的財産戦略の最近の動向」と題して、最近の文部科学省の取組みと今後の方向性についての講演をいただきました。また、本学技術経営研究科木村教授から、実際のwebを使って、YUPASS(山口大学特許検索システム)の紹介も行われました。

続いて、会場との意見交換セッションが行われ、当日会場から回収した60件近くの質問に対して、荒井氏、井上室長とともに本学の佐田本部長、三木教授、木村教授が回答し、好評のうちに本研修会を終了しました。

(学術研究部 産学連携課)



荒井寿光氏による基調講演



会場との自由な意見交換セッション



「知財担当者、産学連携・TLO関係者、研究者のための知財集中研修会」を開催

3月16日(金)、山口大学常盤キャンパス(工学部)において、「知財担当者、産学連携・TLO関係者、研究者のための知財集中研修会(一日で身につく知財・契約の基礎から応用まで)」を開催しました。本研修会は、文部科学省が実施している「大学知的財産本部整備事業：地域連携ネットワーク事業」の一環として文部科学省と本学との共催によるもので、昨年12月に開催しました「知財アカデミアin山口」に続き、今回で4回目を数えます。

今回の研修会では、特に大学知的財産本部整備事業や産学連携業務に携わる方々に向けて、知的財産権の取り方や契約の基礎から応用までを取り上げました。

研修会には、北は北海道から南は鹿児島県まで、大学、企業、公共機関等学外者約75名、学内からは副学長をはじめ約45名の参加を得て開催されました。

第1部の「知的財産セミナー」では、前段で文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課技術移転推進室の吉田 秀保室長補佐から、基調講演「産学官連携の現状と今後の施策について」と題して、現在の産学官連携の状況と今後の国の施策や文科省の行政等について、大所高所の観点からご説明いただきました。

後段で山口大学 産学公連携・創業支援機構 知的財産本部の佐田 洋一郎本部長が、①知的財産の基礎から特許取得のノウハウ、②強い特許の創出から共同研究時の知財取扱いの注意点、③研究成果の守り方から特許経費の節減のノウハウ等、特許取得のノウハウや特許経費の節減方法等についてわかりやすく解説いたしました。

引き続き、第2部の「契約セミナー」では、山口大学 産学公連携・創業支援機構 知的財産本部の奥 登志生ディレクターが、①知財契約の基礎知識、②産学間での知財契約上の注意点とその対応策等、知財契約上の注意すべき点を中心として現場で直ちに役に立つ知識についてわかりやすく解説いたしました。

研修会の最後に、会場との意見交換が行われ、当日会場から回収した多くの質問に対して、吉田室長補佐、佐田本部長、奥ディレクターの講師陣が丁寧に回答、アドバイスをを行いました。

また、本研修会で恒例となっているプログラム中盤の「ミニ交流会」では、熱の入った情報交換が参加者間で活発に行われ、研修会終了後の交流会では、副学長も交え、各大学の取り組みや悩みについて「本音の話」に花が咲き、閉会予定時刻を超える盛況ぶりでした。

(知的財産本部)



杉原副学長による開会挨拶



吉田文科省室長補佐による基調講演



佐田知財本部長による知財セミナー



奥ディレクターによる契約セミナー



特許情報検索講習会・特許マップ作成講習会・特許明細書作成講習会を開催

知的財産本部の主催で、平成18年度では2度目の「特許情報検索講習会」が、常盤キャンパス(11月1,8,14日の3日)及び吉田キャンパス(11月29日、12月6,13日の3日)で、2回にわたり開催されました。宇部興産(株)知財部の岡本和彦氏を講師に招き、特許の基礎知識や特許情報検索の方法についての講義と併せて、パソコンを使つての実習が行われました。



岡本先生による特許情報検索講習会

一方、「特許マップ作成講習会」が、常盤キャンパス(1月5,6日と1月12,13日の2回)及び吉田キャンパス(2月9,10日)で開催されました。産業技術総合研究所の栗原健一氏を講師に招き、特許基礎知識、特許情報検索、特許マップ作成についての講義と併せて、パソコンを使つての実習が行われました。



栗原先生による特許マップ作成講習会

また、「特許明細書作成講習会」が、本学客員教授の齊藤真由美氏を講師に招き、吉田キャンパス(2月16,17日)で、一方、常盤キャンパス(2月23,24日)においては、本学客員教授の佐藤荘助氏を講師に招き開催されました。学術研究からの発明発掘の観点で、研究成果を特許明細書にまとめる手法等の特許明細書作成の基礎的講義と併せ、事例研究の演習も行われました。



齊藤先生による特許明細書作成講習会

これらの講習会は、「特許情報検索インストラクター養成」、「特許マップ作成インストラクター養成」や「特許明細書作成サポーター養成」のための講座も兼ねたものであり、都合7回の講習会では、いずれも多くの実習を交えて丁寧に非常にわかりやすく説明され、延べ143名の教職員、学生は質問を活発に行い熱心に受講しました。本研修会のアンケート結果によれば、今回のいずれの研修会も、初心者にとってわかりやすい内容で非常に有意義な講習会であったと大変好評でありました。



佐藤先生による特許明細書作成講習会

なお、いずれの講習会も実技試験を実施しており、一定の水準に達した者は、今後新たに特許インストラクター・サポーターに登録・認定され、先生方の要請等により、学内で先行技術調査、特許マップ作成や出願時の簡易明細書等資料作成を行い、先生方の研究活動の支援を展開していくことになっております。今後、就職活動や大学運営のためにも本インストラクター制度を大いに活用していただきたいと思ひます。(知的財産本部)



“特許インストラクターの体験談”

「学生時代に特許インストラクターを経験して」

山口大学大学院 理工学研究科 社会建設工学専攻 修士課程 H19.3卒 井上 佳子

私は一昨年から、特許情報検索のノウハウを身につけたいと思ひ、知的財産本部が主催する講習会や勉強会には積極的に参加した後、特許情報検索インストラクターとして先行技術調査に力を入れて取り組みました。依頼者である先生に積極的にコンタクトをとって技術内容を把握し、それに合せた特許情報の検索を行いました。この経験を通じて、知的財産権などの知識はもちろん、それ以上に積極的に取り組む姿勢や、普段はなかなか話すチャンスのない先生など年配の方とのコミュニケーションの取り方についてなど多くのことを習得することができました。また、特許情報検索インストラクターの他に、特許マップ作成インストラクターや特許明細書作成サポーターにも認定され、マップの作成および明細書作成についても実践で学ぶことができました。



私はこれらの活動を通じて、自分自身のためだけでなく、自分以外の人に対しても良い結果が出るように動く、まさに“Win-Win”の関係を構築できるように努力する姿勢が身についたと思ひます。また、このことは就職活動の面接時の大きなアピールポイントとなりました。後輩たちにも、この特許インストラクターを是非お勧めしたいと思ひます。

山口大学大学院理工学研究科を卒業後の就職先では、特許情報検索のソフトを構築する業務もありますので、入社後、これまでの経験を活かして頑張りたいと思ひます。

最後になりましたが、山口大学知的財産本部での知的財産に関する取り組みは、知的財産整備事業のモデル校と言われておりとお聞きしておりますが、私たち学生からみても、知的財産に関する取り組みが本当に充実しているように思われます。そのような場で勉強できたことは本当に幸運でした。改めて関係者の皆様に深く感謝の意を表します。

末筆ながら、山口大学知的財産本部の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。



“卒業に当たり特許インストラクターから寄せられた声”

3月に大学院を修了された特許インストラクターから「大学院修了の報告とお礼」のメールを頂きましたのでご紹介します。

☆山口大学大学院 理工学研究科 電気電子工学 専攻 修士課程 H19.3卒 平岡 正紘



昨日、無事に修了式を迎えることができました。この4月からは、M社で働くこととなります。配属先もまだわからず、どのような仕事に従事するかわかりませんが、この山口大学で学んだ知的財産の知識は、私の一生の財産となることと思います。知的財産本部の皆様方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。今後の知的財産本部のますますのご発展を願っております。

☆山口大学大学院 理工学研究科 応用化学工学 専攻 修士課程 H19.3卒 福井 喬一郎



このたび3月に大学院を修了し、就職することになりました。今まで特許インストラクターとして大変お世話になりました。特許インストラクターの活動を通して、おかげさまで、特許について詳しく知ることができました。就職してもこの特許インストラクターで学んだ知識を生かしてがんばって行きたいと思っております。

☆山口大学大学院 理工学研究科 知能情報 システム工学専攻 システム設計工学研究室 修士課程 H19.3卒 永田 信人



私は3月に修了し、このたび特許情報のシステムを構築している会社に就職することになっております。これも特許情報検索インストラクターをしたことも一つのきっかけだったと思いますが、就職の面接の際には特許情報検索インストラクターの経験が一つの話題として非常に役立ちました。もともとのかっけは、研究室の先生に半強制的に参加させられた特許情報検索インストラクター講習会でしたが、受講してみると非常に有意義なことが実感でき、おかげさまでいろいろな経験をつまさせていただきました。ありがとうございました。今後の山口大学知的財産本部ならびに特許インストラクターのますますのご発展をお祈りいたします。

☆山口大学大学院 理工学研究科 電気電子工学 専攻 修士課程 H19.3卒 下池 修



4月からは就職します。特許明細書作成サポーターの仕事を経験させて頂き、きちんとサポートできたかが不安ですが、経験を今後活かせると思います。貴重な経験を与えていただきました関係者の皆様方にお礼申し上げます。

☆大学院 連合農学研究科 生物資源環境科学 専攻 博士(農学)課程 H19.3卒 増崎 真一



私は先日連合農学研究科を修了致しました。大学には少なくとも数ヶ月は残ると思いますが、身分が学生ではなくなりますので、残念ながら、今までのような特許インストラクター・サポーターのお仕事をお手伝いすることは出来なくなるのではと思います。これまで、特許インストラクター講習会および実際の明細書作成の過程におきまして、多くの知識を取り入れることが出来ました。この制度は我々学生にとっても非常に有意義なものであると感じておりますので、今後更にご発展されていくことをお祈りしております。

☆山口大学大学院 技術経営研究科 木村研究室 修士課程 H19.3卒 中村 千里



いよいよ4月よりF社に就職し、知財担当として仕事を予定になっております。知財セミナーや特許インストラクター講習会で学んだ知識をこれからの仕事に大いに活かしたいと思っております。在学中は、大変お世話になりました。心からお礼を申し上げます。

☆山口大学大学院 理工学研究科 化学・地球 科学専攻 修士課程H19.3卒 大江 典子



来年度からは就職し、山口を離れることとなりました。短い間ではありましたが、お世話になりました。特許インストラクターの仕事の機会をさせていただき、いろいろな経験をさせていただいたことに感謝しております。また、いろいろとご迷惑をお掛けいたしました。本当にありがとうございました。



Chizai Honbu Schedule 【12月から3月までの主な出来事】

12/7	国立大学法人山口大学研究推進セミナー (東京・キャンパスイノベーションセンター)	2/9, 10	特許マップ作成講習会 (吉田キャンパス)
12/7	大分大学講義 (大分大学)	2/13	知的財産本部専門部会 (各地区TV会議室)
12/6, 13	特許情報検索講習会 (吉田キャンパス)	2/16, 17	特許明細書作成講習会 (吉田キャンパス)
12/11	「地域連携ネットワーク事業」研修会 (山口グランドホテル)	2/19	山口銀行知財セミナー講師 (下関、山口銀行本店)
12/16, 1/27	MOT講義「知的財産権論」 (常盤キャンパス)	2/23, 24	特許明細書作成講習会 (常盤キャンパス)
12/19	知的財産本部専門部会 (各地区TV会議室)	3/2	山口経済同友会講演 (山口グランドホテル)
1/5, 6	特許マップ作成講習会 (常盤キャンパス)	3/9	国立大学法人山口大学新技術説明会 (東京JSTホール)
1/12	同志社大学講義 (同志社大学)	3/13	岡山発明協会講演 (岡山ロイヤルホテル)
1/12, 13	特許マップ作成講習会 (常盤キャンパス)	3/14	学内啓発セミナー (常盤キャンパス)
1/17	知的財産契約に関する講習会 (常盤キャンパス)	3/16	「地域連携ネットワーク事業」研修会 (常盤キャンパス)
1/23	知的財産本部専門部会 (各地区TV会議室)	3/20	知的財産本部専門部会 (各地区TV会議室)
2/7, 8	放送大学講義 (中国地区放送大学)	3/22	文科省内研修講師 (文科省)



編集局長 佐田 洋一郎
発行所・お問い合わせ

企画・監修・編集長 加納 好昭
山口大学知的財産本部

構成・編集 長久 さよ子

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1 TEL (0836) 85-9966 FAX (0836) 85-9967
E-mail chizai@yamaguchi-u.ac.jp ホームページ <http://www.chizai.yamaguchi-u.ac.jp>